



特集:「いただきます」で始まるご近助さん

175歳以上のひとり暮らし高齢者に毎月1回食事サービスを行い、見守り事業の一環として実施。(7、8月を除く)

高年齢者の食事サービス 食サササービス担当 鈴木 恵子

トークテーマ 活動の概要 活動で感じていることは 新年に一言

新春おめでとうございませー！新年を迎え、新たなご縁に期待を膨らませているところではないでしょうか。



発行 君津中央公民館 君津市久保2-13-2 TEL.0439(50)3980 FAX.0439(54)9888

は登録制で現在32名です。退職後地域で何かできることはと思っていれば、前任者から声をかけていただき始めました。



心を込めて お弁当作り

①温かな食事の提供を、毎月1回、第1金曜日(変更の場合あり)17時〜20時に実施しています。

各地区で開催されている「ふれあいサロン」(詳細はひこばゆ370号参照)。



おじゃまします! ふれあいサロン(陽光台・高坂)



次はどこにおじゃましようかな?

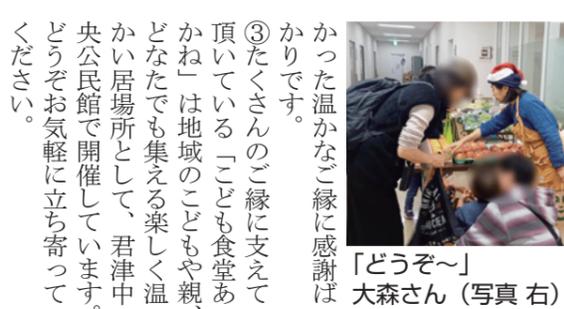
「太郎ちゃん」の掛け声で登場して始まる腹話術や、みんな一緒に健康体操そして「小枝で鉛筆ブローチ作り」では、サクラ・クロモジなど好きな小枝を選んで夢中で工作。



子どもや親どなたでも温かい居場所をめざして

こども食堂あかね 代表 大森 英子

②こども食堂を開設して11ヶ月。開設当初は3名だったスタッフも今は10名の方が集まって「あかね」を支えてくださっています。



「どうぞ〜」大森さん(写真右)

今年も食事の提供やフードパントリー、遊びを通して子どもや地域の方が自由に集える場所として取り組んで参ります。



子どもと一緒に考える デジタル事件簿 スマホの購入を考えている方もすでにスマホやタブレットを子どもに持たせて

障がい者の生涯学習 推進事業「だんだんダンス」 障がいのある人も参加できるダンスの講座です。

【モンズレイユDAY】 1月26日(金) 2月16日(金) 3月22日(金) ※11時から13時まで。

【主催事業のご案内】 子どもの心を聴く傾聴講座 聴くことを大切にしたいコミュニケーションを学び、子育ての土台となる「子どもとの信頼関係」を見直してみませんか?

いる方も必見の講座です。子どもと考えるワークショップも行います。

対象:市内在住の方など。申込み:電話または専用フォームからお申込みください。



自治会長を引き受けてから三年が経とうとしている。大過なく過ごせたのは運が良かったからだと思ふ。

新シリーズ 自治会長随想 自治会では防災や環境美化の活動、高齢者や子ども

住みやすい街を 援け合いでまちづくり 中野自治会長 榎本 護



これは自治会活動にも当てはまる。様々な役員同士の連携は非常に重要なので、交流の機会を増やしたい。



近所のいい場所みつけた! 公民館で活動している写真サークルの皆さんが撮影した写真をご紹介します。



中野大野原公園のコゲラ ~写楽~



君津市保健福祉センター前 ~君津写真サークル~

編集後記 文化祭で掲げた「縁」は平仮名の「つなぐまなぶ」で描きました。この新たなご縁が人を繋ぎ、皆様の学びに繋がれば幸いです。

文化祭を 振り返って

文化祭実行委員長
萱野 正夫
(君津ペン習字)



文化祭は、全てのサークル会員へ周知を図ることで文化祭への関心度を高め、サークルを超えた会員同士のコミュニケーション基盤を整えていくことが重要です。

また、周辺地域住民、自治会や祭囃子会などの様々な団体に輪を広げることで舞台演技や作品展示、出店などへの来場者が増え、盛り上げ効果が大きくなります。さらに、大切なことに「相

手を思いやる心」と、ともに助け合う「共助」が挙げられます。

舞台発表中に私語を慎むことや展示準備作業などの助け合い、来場者を配慮するため出演者の駐車場使用は控えるなどといった「思いやり」「気遣い」が気持ちの良いスムーズな運営に繋がります。

これらの点を意識して臨んだ今回の文化祭は、若手の課題も残るところですが、役員や地域・各サークルの皆さんと公民館スタッフのおかげで、無事盛大に終了することができ、感謝でいっぱい입니다。

これからも、サークルが以前のように160を超えるように、また文化・芸能レベルの向上に微力ではありますが、尽くしたいと考えます。

第59回 君津中央公民館文化祭開催 文化祭でつながった ご近助の新たな縁

百の縁で つながった文化祭

1階グループ長
特別企画舞台班班長
福田 茂美
(ミッキーマウス・パソコン)



筆者:写真左

感染法上のコロナの位置づけが2類から5類に変更後、初めての文化祭となりましたが、1階グループでは21のサークル・団体が

去る11月2日〜5日の4日間、第59回君津中央公民館文化祭を開催しました。人と人のつながり、地域とのつながりを意識し、「つながる」をテーマに、約70サークルが展示、体験、舞台発表などで会場を盛り上げました。特別企画は「100の縁を見つけよう」みんなでつくる「ご近助縁日」。中高生を含む約50名の運営ボランティアによる射的や型抜きなどのミニ屋台、地域のお囃子と大道芸の披露にぎわいました。

文化祭に関わったみなさんの声を集めました。



御霊神社中野太鼓連



大宮神社 久保祭保存会 若駒会

ホールは 盛り上がった

ホール舞台グループ長
茂木 謙治
(フォーク音楽同好会)

あの日、音楽・芸能部門23団体の発表が始まった。合唱からスタートし次々と楽器演奏やダンスなどが披露されていた。皆自信に満ち溢れていた。日頃の練習成果なのだろう。

開始早々、プログラム間にズレが生じたがナレーターさんや舞台裏係などのフォローもありスムーズに



筆者:写真右

共有と 一体感への取り組み

2階3階グループ長
森数 啓子
(君津ナレーションサークル)

2階3階グループは、各サークルや活動団体の集まりであったこと、参加日が3日間に分かれていることから、事前会議では各グループの参加内容を共有し一体感を得ることを目指しつながりを持つようしました。



筆者:写真後列左

「初めまして」 でも縁の力

特別企画グループ長
齋藤 みどり
(君津市子ども会育成連絡協議会)



ボランティアスタッフと一緒に(筆者:写真中央手前)

今年の特別企画は、地域の助け合いの縁を深める「縁日」を開催しました。お祭り広場では、地域のお祭りのお囃子を映像や生演奏でお披露目していただき、フードコートでは、地域の団体に100円以内で文化祭特別メニューを作っていたいただきました。ミニ屋台では、グループになり内容の検討や備品を手作りし、中高生や地域のボランティアが力を合わせ、楽しみながら作り上げたことはスゴイことです。



ご近助縁日に 参加して

特別企画スタッフ
古川 和子

学生から大人まで、様々な年代の人が集まって一緒に作り上げたこの企画。学校帰りの学生に「お帰りの声をかけて大人。制作の場は温かい笑顔と言葉でいっぱいでした。経歴も経験も関係なく、みんなが知恵を出して身体を動かす気持ち良さ、全てを受け入れ、



来年は もつと多く

軒下グループ長
佐藤 玉子
(利用者みんなの会)

100の縁をみつけようみんなのでつくる「ご近助縁日」スタートした文化祭。模擬店は4つの団体が参加しました。場所の工夫、価格設定と、天気の心配がありました。

コロナ禍から少し抜け出した今回の文化祭。「やはり食べ物がないと寂しいね」の声に、初めてのフランク



筆者:写真右

縁が運んでくれた 大舞台!

特別企画舞台出演
郡春日神社祭囃子保存会
與安久美子 高橋 愛

緑の繋がりを大切に思っています。まだまだ未熟な私共ですが、良い経験と考え出演させて頂きました。

中々、他地区のお囃子を見る機会は無かったため、とても刺激を受け「こんな叩き方もあるんだ」と勉強させて貰いました。



太鼓から縁が広がり、来年も更にパワーアップして参加させて頂いたら光栄です。ありがとうございます。

学校では 学べないこと

特別企画スタッフ
伊藤 美咲
(高校生)



初めてのボランティアを通して学んだことは「企画運営の大変さ」です。お客さんが興味を引くような出し物を考えたり、赤字にならないかという良心的な値段に設定したりするのが大変でしたが、まるで自分が経営者になったような気分になれ



ジャン・ケン・ボン!



フードバンク & チャリティー縁日にご協力いただきありがとうございました。

ご近助縁日での収益金とたくさんの食品は、君津市社会福祉協議会を通じてこのまちの助け合いに役立てられます。

地域の皆様のご協力を得て、「地域のお祭り紹介」近所ネットワーク再発見」を作成しました。ホームページにてご紹介いたします。

QRコードを読み取りご覧ください。